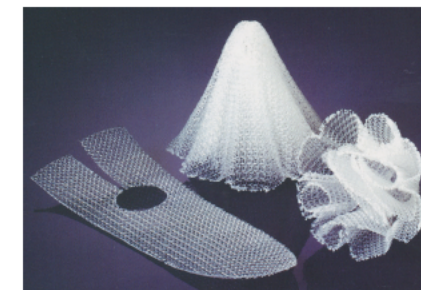
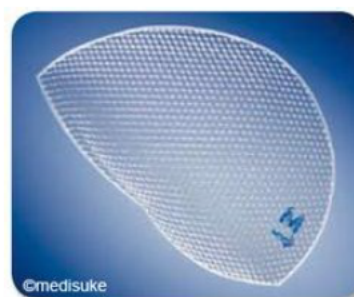


治療方法

ヘルニアは自然に治ることはなく、治療は手術のみになります。
「弱いところを人工の膜(メッシュ)で覆って修復する」手術です。

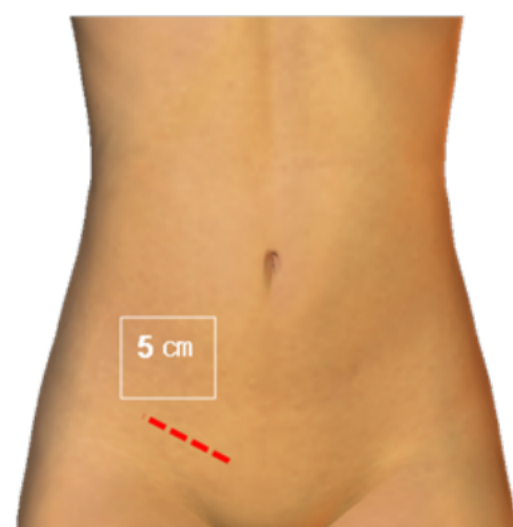
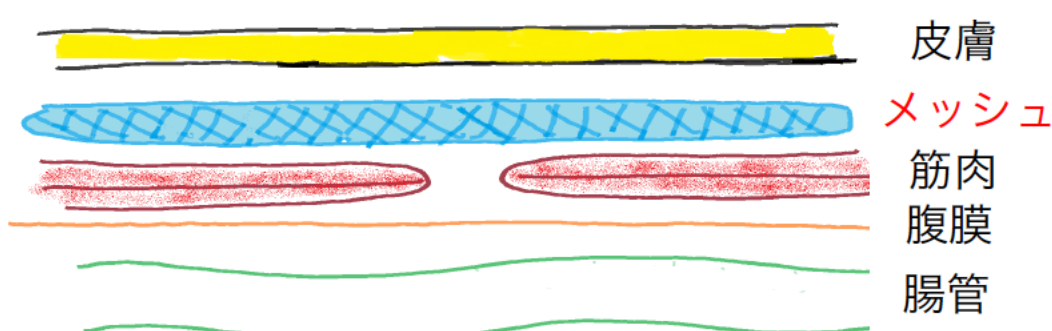
メッシュ



- 溶けないで身体に残ります。
- 医学的に安全性は保証されています。

従来法(局所麻酔)

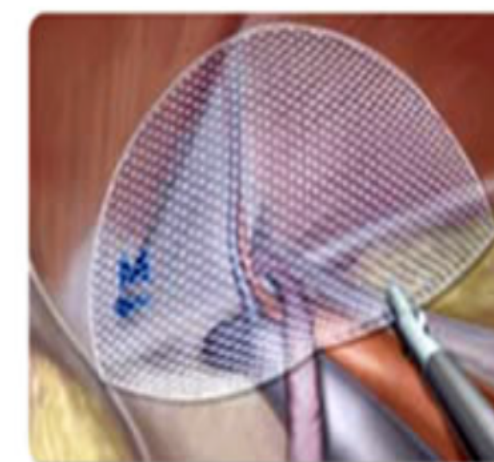
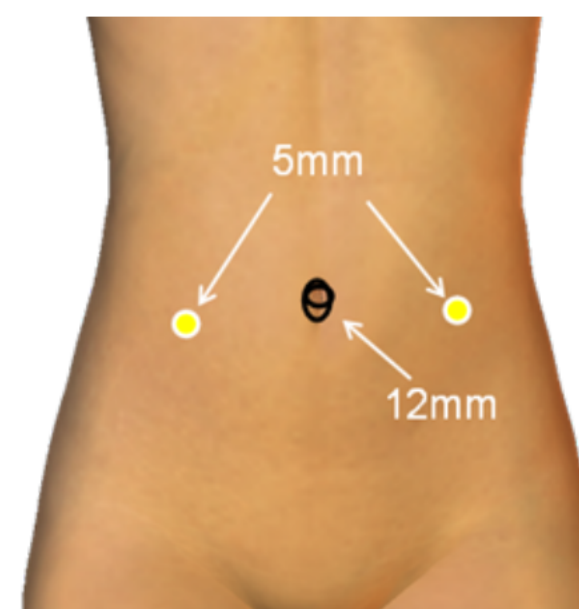
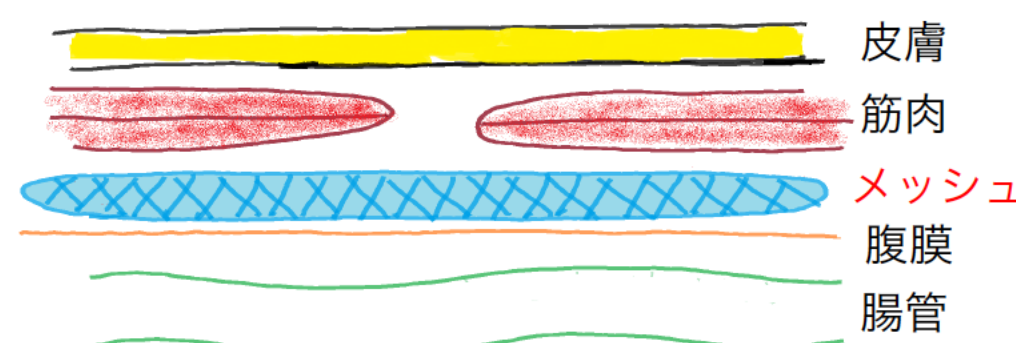
従来法 (局所麻酔)



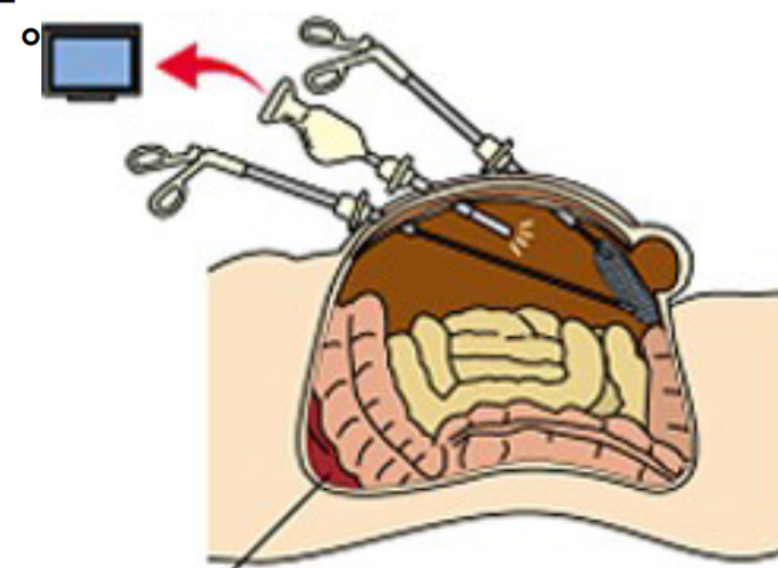
- 心肺機能が弱い方でも手術可能。
- 血をサラサラにする薬を休薬しないで手術ができます。
- 鼠径部の痛みは強いです。

腹腔鏡(全身麻酔)

腹腔鏡 (全身麻酔)



- 小さい傷で、術後の鼠径部の痛みが少ないです。
- 日常生活、社会復帰が早いです。
- 血をサラサラにする薬は休薬が必要です。



手術方法の比較

	従来法	腹腔鏡
術後安静	制限なし	手術した日のみ (翌日から制限無し)
食事開始	手術日の夕食から	手術の翌日から
抗凝固薬、抗血小板薬	休薬無し	休薬あり
入院日数	5日	5日
術後の鼠径部の痛み	強い	無し
再発率	1%前後	2-3%

合併症

出血(再手術が必要)	0.5%
創感染	0.09-0.46%
メッシュの感染	0.17-0.7%
創部滲出液の貯留	0.6-6.7%
慢性疼痛	3-7%
再発	1-3%

退院後の生活

- 日常生活は手術の翌日から可能です。
- ジョギング、重いものを持つなどは3週間後から可能です。